

議事概要

開催日時：令和 5 年（2023 年）10 月 31 日火曜日 13:45～17:25

委 員：別紙 1（委員名簿等）記載のとおり（委員 5 名中 5 名出席）

関 係 者：国土交通省 港湾局 海洋・環境課（3 名）

事 務 局：ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（5 名）

【議事要旨】

1. 本委員会の委員長として、委員の互選により佐々木淳委員が選定された。
委員長は、本会議の議事の事務的な進行については、事前配布の議事進行案に基づき、事務局にこれを一任したい旨を述べ、出席委員らは異議なくこれに同意した。
2. まず、本委員会の運営等に係る規則の改正につき、事前配布の規則改正案の確認がなされ、出席委員らは異議なくこれに同意した。
また、各申請につき助言その他の利害関係を有するおそれがある旨の申告等がある委員がいる場合には、当該各申請の具体的な審議がなされる際には、離席その他の方法により審議に適宜参加せず、これにより、その審議の公正さを手続的に確保し、適正手続の要請を満たすべきこととされているところ、本会議に係る各申請については、そのような利害関係を有すべき委員はいないことも確認された。
3. 最初に、今回の現地確認等及び審査資料の内容等を踏まえ、藻場面積の確実性及び吸収係数の確実性（以下、これらを併せて「確実性」という。）の評価に関する一般的な考え方及び配点の見直しに関する審議・検討が行われた。
まず、今期の海洋環境の実情等を踏まえ、式 1（「J ブルークレジット®審査認証の手引き」記載）に係る確実性評価の具体的配点基準を、前期と比べより保守的に見直すべき旨の意見が示された。
また、式 2（「J ブルークレジット®審査認証の手引き」記載）に係る確実性評価の具体的配点基準について、湿重量データの測定点の数が複数あるものについては、その数に応じ計測精度がより高まるというべきであることから、積極的に加点されるべき旨の意見も示された。
さらに、従来 of 計測方法よりも精度が高いというべき計測手法が採用されている場合には、確実性評価の具体的配点基準において、積極的に加点されるべき旨の意見も示された。
4. 次に、委員らが本会議の開催前に申請書及び資料を確認し、検討した別紙 2 記載の各申請のうち、特に重点的に審議すべきものを中心として具体的な審議検討が行われ、各申請内容等を踏まえ、それらの具体的な確実性評価等に関して審議がなされた。

5. 以上を受けて、委員長が、出席委員らに対し、以下のとおりの議案を諮ったところ、本議案は、出席委員らの全員の賛成により決議された。

(1) 停止条件付決議

当委員会は、当委員会の事務局をして、各申請の申請者（ら）に対し、本会議の審議内容等を踏まえ、前記の確実性評価その他の事項につき、申請内容の補正及び添付資料等の追加提出を促すことを求め、その補正等及び追加提出され、その内容が確認等されることを停止条件として、次の(ア)及び(イ)に各記載のとおり決議する。

(ア) 必要に応じ補正等された後の各申請に係るプロジェクトについては、「J ブルークレジット®審査認証の手引き」の記載その他の所定の要件を満たすものとして、いずれも承認されるべきものである。

(イ) 必要に応じ補正等された後の当該各申請に係るプロジェクトの実施に伴う CO₂ 吸収量として申請された数量[t-CO₂]については、「J ブルークレジット®審査認証の手引き」その他の所定の要件を満たすものとして、それぞれ認証されるべきものである。

(2) 停止条件の成就の確認等の手続き

当委員会の事務局は、前記の申請内容の補正及び添付資料等の追加提出を確認した上で、委員らに対しこれらの内容を送信し、委員らが、あらためてそれらを確認し、必要に応じ異議を述べる機会を設けるものとする。その上で、各申請に係る J ブルークレジットを認証されるべきものとするものの可否については、委員長にその決裁を一任する。

6. 以上のとおり審議・採決を行い、会議は終了した。

J ブルークレジット 審査認証委員会（令和5年度第1回）

別紙1

委員名簿等

令和5年（2023年）10月31日現在

	氏名	所属等	専門分野	
委員	岡田 知也	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 海洋環境・危機管理研究室長	沿岸環境、生態系サービス等	出席
委員長	佐々木 淳	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授	沿岸環境、環境再生等	出席
委員	鈴木 健司	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター センター長兼検証審査部長	クレジット算定・検証・認証、 オフセット制度等	出席
委員	中西 敬	徳島大学環境防災研究センター 客員教授	生態系工学、沿岸域の環境修復	出席
委員	長谷川夏樹	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源開発センター 沿岸生態系寒流域研究グループ 主任研究員	水産増養殖、海藻類等	出席 [オンライン]

J ブルークレジット 審査認証委員会令和 5 年度第 1 回審議対象申請一覧

管理番号	プロジェクトの名称
JBC00000024	長崎県実りの島壱岐イスズミハンターいきいきプロジェクト
JBC00000041	岩国市神東地先におけるリサイクル資材を活用した藻場・生態系の創出プロジェクト
JBC00000049	防府方式による藻場の環境保全と再生、海の未来づくり
JBC00000050	未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～
JBC00000054	明石市江井島周辺を中心とした藻場造成 「アマモは海のゆりかごだ！」プロジェクト
JBC00000062	循環型藻場造成「積丹方式」によるウニ増殖サイクルとブルーカーボン創出プロジェクト
JBC00000064	御前崎港久々生（くびしょう）海岸里海プロジェクト
JBC00000066	昭和から続く北海道えりもの天日干し日高コンブの生産と藻場再生による CO2 吸収
JBC00000069	串浦の美しき藻場を未来へ繋げるプロジェクト
JBC00000071	葉山町の多様な主体が連携した海の森づくり活動
JBC00000079	白神山地（鮭ヶ沢町）沿岸域における藻場の活性化プロジェクト
JBC00000082	大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクト in 徳山下松港
JBC00000086	横須賀みんなの海プロジェクト～海の幸を守る、育む、つなげる～